

## 005 風水害時のペットの一時預かり事業

取組主体

公益社団法人横浜市獣医師会

従業員数

想定災害

実施地域

404人

風水害

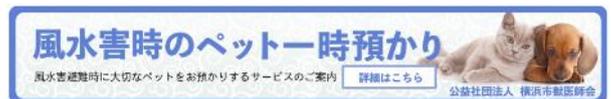
神奈川県

- 風水害時にペットのいる飼い主が安心して避難できる備えとして、ペットの一時預かり事業を開始。横浜市獣医師会と横浜市が官民連携し、横浜全域をカバーする広範囲での持続的な事業継続を実現。

### 1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

#### 風水害時に飼い主が避難できる備えとして、ペット一時預かり事業を開始

- 公益財団法人横浜市獣医師会は、令和元年東日本台風等を受け、大型台風の接近や集中豪雨等の風水害時に飼い主が避難場所へ避難している間、同会の協力病院でペットを預る事業を令和2年度より開始した。
- 風水害時に避難場所への避難が必要な飼い主が、ペットがいることで避難を躊躇し、被害に遭うことを防ぐことを目的としており、令和3年12月時点で、同会会員のうち71名が本取組に参加している。横浜市との官民共同事業であるため、持続的に継続できることに加え、同会が組織的に取り組むことによって、横浜市一帯の広いエリアをカバーすることが可能になる。
- 全国的に多くの震災、風水害が近年発生している中、災害時にペットの安全を心配することなく人々が安心して避難するための備えが必要であることが浮き彫りになっている。同会は、ペットの一時預かりは、人が安全避難するための必須事項であり、平時からの避難行動計画の1つであると考えている。



#### ホームページで風水害時のペット一時預かり事業を紹介



#### ホームページで協力動物病院リストを公開

### 2 取組の平時における利活用の状況や防災・減災以外の効果

- 平時には、同会会員内において定期的な防災訓練による連絡網体制の確認や、動物預かり用の備品であるケージの稼働状況の点検報告を実施している。
- 本取組を通じ、会員病院同士に互助の精神が生まれ、組織力向上につながったと考えている。

### 3 現状の課題・今後の展開等

- 実際の災害が生じていないため、どの程度の需要があるのか、また、どの程度サービスを提供することができるのか、スムーズに計画通りに機能するのが未知数である。他の被災した地域での現状分析等が可能であれば行いたいと考えている。

#### 問合せ先

公益社団法人横浜市獣医師会 法人番号：3020005001897  
TEL：045-751-5032 FAX：045-752-1014 E-Mail：office@yvma.or.jp

#### サイト URL

